

2025 年度 2 教科型全学部統一入試 E 方式
2 教科型グローバル教育プログラム統一入試 G 方式
5 科目型国公立併願アシスト入試 P 方式

国語 出題意図

問題構成

第一問 現代文（論説文）

第二問 現代文（論説文または随筆・小説など）

第三問 近代以降の文章

出題意図

明治から現代までのさまざまな文章から出題し、大学の学修に必要な知識と文章読解力を問うています。問題文の字数は、年度や大問によって異なりますが、概ね 3000 字程度から 7000 字程度までで、このような字数の問題文 3 題を、全力で思考しつつ読み込むという、集中的読解力を期待した問題です。設問の多くには、文章の全体的な展開に関わる文脈を理解し、その展開の中で語句や文に託された意味を読み取る力、あるいは段落の主旨を読み取る力を評価しようという意図があります。正解の根拠を問題文の展開から論理的に導けるような問いを設けて、論理的思考力を評価できるよう考えています。また、文章表現上の特徴や日本語独特のニュアンスに対するセンスが身についているかどうか、国語常識も含め、総合的な日本語能力を評価しようとする問いも設けています。